



『大空舞う風に想いを託して』

愛の手を

バプテスト心身障害児(者)を守る会

第174号

発行責任者
社会福祉法人 バプテスト心身
障害児(者)を守る会
重症心身障害児施設 久山療
育園重症児者医療療育センター
理事長 山田 雄 次
編集責任者 馬 原 哲 治
福岡県粕屋郡久山町大字
久原 1869
☎代 (092)976-2281
FAX (092)976-2172

日常の宣教の業としての

在宅支援プロジェクト

仙台北バプテスト教会牧師/理事 金丸 真

久山療育園は、その働きの理念の一
つとして、「新しい福祉社会(福祉共同
体)づくりの拠点となる」ということ
を大切に考えてきました。久山療育園
に入所していらっしゃる方々に精一
杯お仕えるのはもちろんのこと、そ
れだけではなく、通所にいらっしゃる
方々や在宅の方々の支援にも力を入
れ、久山療育園が「共に生きる」拠点と
なることを願って事業を行なってい
ます。特に現在、在宅支援プロジェク
トとして準備が進められている「在宅
支援棟」と「共同生活介護棟(ケアホー
ムひさやま)」の建設は、「共に生きる」
拠点として、在宅の保護者の方々の声
に少しでも応えたいと願って始まっ
た事業です。ですから、この事業には
沢山の方々の思いと祈りが込められ
ています。保護者の方々が高齢や様々
な事情で、愛するお子さんを介護でき
なくなることに対する不安は切実な
ものです。その保護者の方々の重荷を
共に担わせていただき、重症児者の方
々の命を真ん中に置いて発想しよ
うとしている在宅支援プロジェクト
は、キリストの福音を具体的に現して
いる宣教の業でもあると思います。

働きは、教会の「非日常の業」ではなく
「日常の業」となっています。それは、
震災から三年が経ち、いわゆる「支援
活動」から「共に歩ませていただく」働
きに移行していったからでしょう。震
災で痛んでいる方々のところに日常
的に通い続け、共に歩ませていただく
働きによって、神の寄り添いを伝え、
神があなたの命を喜んでいることを
伝え、どんな十字架を背負っても共に
血を流して担ってくださっているキ
リストを伝え、一巻の終わりだと思っ
てもその先に希望の道、復活が起こる
ことを伝える。震災支援の働きは、そ
んな宣教の業として用いられている
と信じています。

久山療育園も、まさにそのような教
会の日常の宣教の業を具体的に担っ
ている場であると信じます。久山療育
園は教会の祈りの中から生まれた施
設です。ですから、まず教会が久山療
育園を「日常的にキリストの愛を証し
する場所」であることを改めて心に留
めて、この在宅支援プロジェクトを力
強く支えていきたいと願います。そし
て、この在宅支援プロジェクトを福岡
県だけの話に止めず、ぜひ全国の方々
と分かち合い、一緒に支えていきたい
と、仙台的地から強く願っています。

主張

新しく踏み出す久山療育園への支援が一層強化されることを願って

理事長 山田 雄次

久山療育園は2015年度から第2次在宅支援プロジェクトの開始に向けた仕上げの時として、2014年度非常に大切な年を迎えます。開設のための行政との手続き、工事の着工と完成、事業の開始のための職員の採用と配置、更に「ケアホーム」の入所者の決定と受け入れ等々、課題を肅々と進めてゆくこととなります。

しかし一方で、そのことと平行して拡大する久山療育園の働きを支える支援活動、具体的には3年間で3000万円の建築のための募金と運営が厳しい重症児者のための「ケアホーム」の運営支援の強化等々の課題があります。新しい事業の開始に向けて、改めて支援の強化についての願いをのべてさせて頂きたいと思います。

■第2次在宅支援プロジェクト支援のコロナ友の会の2つの取り組み

新しい在宅支援プロジェクトの建築募金は、3000万円の目標で2013年9月の第37回の久山療育園の開園祭において呼びかけを開始致しました。理解者からの大口の献金も頂き、初年度1000万円の募金の達成がなり

感謝致しております。その中で支援組織であるバプテストコロナ友の会（以下コロナ友の会）において2つの取り組みが行われ励ましを頂きました。その1つは「久山デー」の開催であり、いま1つは同プロジェクト支援の「特別バザー（北海道のばれいしょとかぼちゃの販売）の取り組み」であります。「久山デー」は久山療育園への理解を深め新しいボランティア起しのための取り組みとして久山療育園ボランティアの方々の手によって行われたイベントで、11月30日（土）に平尾教会の大名クロスガーデンで行われました。DVDの放映や他の資料による久山療育園のアピールが行われた中、一流のプロミュージシャンによるコンサートと平尾教会メンバーによるフラダンスがステージで行われ、ホールでは食堂やボランティアによる手づくり品のバザーが行われ、会場いっぱい参加者がプログラムを楽しみつつ、久山療育園とかかわって共に生きることの喜びを体験した1日となりました。

コンサート出演者のひとり「重症児者の皆さんのためにだけ演奏を捧げることで、いつもと違う自分に変えられた思いになりました。ありがとうございました。これを恒例にしましょう」ということばを寄せて下さり、保護者のひとり「素晴らしい演奏に心の癒しをおぼえ、アツという間の1日で家族みんなで楽しませて頂きました。またバザーの収益（26・5万円）が建築資金として寄附されると聞き、障害を持つ子ども親として感謝の気持ちでいっぱいです」ということばを寄せられました。重症児者と共に生きるというテーマのもとでの交流をとおして新しい感動と喜びを共有し、この働きをもっと拡げてゆきたい！という思いに1つにされた1日でした。「来年もしたい！」これはボランティア皆さんの声でした。

いま1つ、第2次在宅支援プロジェクト支援の特別バザーの取り組みは北海道の特産品のばれいしょとかぼちゃの販売をとおしての募金協力で、友の会の有志の協力のもとで10月に行われました。3月発行の「コロナ友の会通信」での報告によれば「1コリント9：23の『福音のためにわたしはどんなことでもする。わたしも共に福音に生きるためである』というパウロのことばを借りれば『久山療育園のためにわたしたちはどんなことでもする。わたしたちも久山療育園と共に生きるためである』という思いに駆り立てられての取り組みであった」とあり、久山療育園の職員たちにとっては心を奮

体制の強化を目指す取り組みを進めました。2年がかりでの大掛かりな学習キャンプの開催や市民への啓蒙を兼ねた映画会の開催、福岡南病院重症児病棟「こぼと病棟」への訪問を通して開園まで3年掛りで行ったボランティア強化（訓練と養成）の取り組み、募金活動では開園の1976年には福岡、北九州を中心に年間49回の街頭募金の実施等々の盛り上がりは、厳しい環境の中からの久山療育園の船出を励ましました。

■久山療育園の開園時と将来におけるコロナ友の会活動

2つの取り組みを今は久山療育園に身を置く立場で大変強く有難く感謝しつつ、この度の取り組みが世代交代の状況の中にあるコロナ友の会活動に勢いを与え、重症児者医療療育センターとしてのその働きが一層拡大されてゆく久山療育園に並走した支援の強化につながって欲しいと願いました。そして久山療育園の開園時と将来におけるコロナ友の会活動を思い起しました。

オイルショックと重なり、日本の重症児者福祉の草分け的存在で民間の重症児者施設づくりのモデルともなった島田療育園で争議が起った1974年は社会福祉法人バプテスト心身障害児（者）を守る会の発起人総会が開かれた年であり、支援組織としてのコロナ友の会は危機感をもって支援に願うものです。

久山療育園が新しい在宅支援の課題に取り組むことになった2013年度に、コロナ友の会は総会で活動テーマを「改めてバプテストコロナ友の会活動の強化を目ざして」第2次在宅支援プロジェクトに取り組む久山療育園との伴走を通して」と決め、支援活動の強化の取り組みを始めて下さいました。建築資金づくりの「2つの取り組み」は総会決議に基づく支援強化の活動の一貫としてのものであり、今の久山療育園にとっては大きな励みです。新しい状況との遭遇や与えられた課題の大きさによって、人の働きは変えられてゆくものです。久山療育園が新しい課題にチャレンジすることとなった事態に触発され、コロナ友の会の支援活動が福岡から全国に拡がってゆくことを切に願うものです。

「2014年重症児者医療福祉の動向」

センター長 宮崎 信 義

はじめに

重症心身障害児(者)をめぐる医療福祉制度の動向は、「障害者総合支援法」及び「改正児童福祉法」による児者分離の医療福祉となりまし。施策を決定する政府も民主党から自民党に交代し、厚生労働政策立案担当も「障害者制度改革推進会議」から「障害者政策委員会」に移行しました。2006年の「障害者自立支援法」を中心とする法律が起案される時の慌ただしさと一転して、行政からの告示や政令・省令が極めて少なくなりました。そこで平成25年度に開催された重症心身障害児連の会議における行政説明やシンポジウムを医療福祉施策を把握する根拠としてご説明したいと思います。

障害者総合支援法施行後1年

平成24年度に「つなぎ法」と言われる障害者自立支援法の改正がなされ、これまでの「重症心身障害児施設」から児者分離された児童施設事業(医療型障害児入所施設・児童発達支援事業など)と成人施設事業(療養介護事業所・生活介護事業による通所)からなる新事業が発足しました。2006年当初の障害者自立支援法による過酷な自己負担(自己責任)は緩和されましたが、医療と「療育」が様変わりしている気が感じられます。

また現状と一致しないという問

題の多かった「障害程度区分」が来年度から「障害支援区分」へと改定され施行されます。在宅重症児者の施策については、重度訪問介護の対象拡大(平成26年4月施行)及び共同生活介護(ケアホーム)の共同生活援助(グループホーム)への一元化です。その主な骨子を以下に述べます。

「障害支援区分」の見直し

行政説明による「障害支援区分」への名称変更や判定区分についての基準は以下のように説明されています。「障害の程度(重さ)ではなく、標準的な支援の必要の度合いを示す区分の名称へと配慮した。知的障害・精神障害は一次判定では低く判定される傾向があり、区分の判定に当たっての適切な配慮を行った。今後の給付…社会的状況(介護者・居住の状況等)を考慮すべきという指摘から、法律の施行後3年を目途(2016年度まで)として支給決定の在り方について検討し所要の措置を講ずる」等です。評価方法の見直し「より頻回な状況」から「できない状況」に、ということですが利用者にとって温かみのある見直しであることを望んでいます。

在宅支援の動向―第17回日中活動支援協議会

2013年(平成25年)10月10、11日に仙台市で開催された第17回全国重症心身障害日中活動支援協

議会から在宅支援の施策と課題について再度述べてみたいと思います。

先ず「障害者総合支援法」と児童福祉法からなる新たな通所事業(多機能型)についてです。新体制となつて生じてきた問題として、看護師の不足が依然としてある医療体制と障害程度区分が同じなら医療的ケアが重くても報酬は同額である制度、医療上重度化していることや家族の高齢化による自家送迎が困難になっていること、キャリアオーバーと言われる年齢超過者の医療の担い手などです。在宅を可能とする社会資源の整備拡充や在宅重症児者の高齢化・重度化や保護者の高齢化が顕著になり、在宅介護が不可能になった場合の受皿や「医療難民」を出さないという切実な課題があります。

ケアホームのグループホームへの一元化

家庭介護が困難になった時の受皿の不足が今後も予測され、当事者としては待ったなしの喫緊の課題です。医療施設ではないケアホーム(共同生活介護やグループホーム(共同生活援助)を充てざるを得ないことになりましたが、重度障害児スコアで3点(食事全介助か体位変換など)以下の医療度が低い方が対象となると思いますが、実情はより重症の方も利用せざるを得ません。グループホームでは自立が可能の方が対象で夜間生活も常駐の職員さえ乏しい環境です。統計上ケアホームについては現在5,241事業所(51%)がグループホームと一体

型、ケアホーム単独は21%となっています。行政施策ではグループホームをケアホームと一体的に運用することが規定の方針になっています。更に外部サービス利用規制の見直しや外部の居宅介護事業者と連携すること等により利用者の状態に応じた柔軟なサービス提供を行うことを検討しているとのこと

平成26年度診療報酬改定

平成18年度(2006年度)に小泉政権の「聖域なき構造改革」の方針で、3・16%という過去最大の診療報酬全体の減額が行われました。平成20年度(2008年度)の減額は0・82%と続きました。この結果、中小病院を中心とした大幅な減収によって病床の閉鎖や削減が目立ったことは忘れられません。その後、大規模病院と小規模の無床診療所を優遇する施策がとられました。日本の医療制度に正すべきことはありましたが、三位一体改革で明らかにしたように効率優先・弱者切り捨ての要素は否めません。重症心身障害施設でも診療報酬が減額となつたり医療職確保が困難になっている事態は続いています。

平成22年度(2010年度)に民主党政権になって報酬全体の改定率が+0・19%と10年ぶりの増額が行われ、平成24年度(2012年度)以降は報酬全体の改定率がほぼゼロペースで推移しました。新聞報道によると平成26年度(2014年度)は消費税が8%に増税されますが、診療報酬全体で0・1%程度の増で実質は据え置きとの観測が出

されています。消費税増税は、当初は福祉目的税と説明され、増額された財源は社会保障に充てられることという議論もありましたが、財務省は引き上げ不要との見解を示しました。

2013年11月28、29日に和歌山市で開催された第34回西日本重症児施設協議会では、診療報酬改定率に加えて重要な問題が取り上げられました。それは「療養病棟」を医療区分2とする経過措置についてでした。平成26年度には「重症児者は療養病棟医療区分2とする」という経過措置がなくなる可能性について問題提起がなされ、算定の基礎である「医療区分1」になると一人一日当たりの診療報酬が400点(4,000円)の減額となり、100床では年間1億6000万円の減収となることが予測されます。これは協会加盟122施設中療養病棟入院基本料を算定している22施設にとつては運営が危ぶまれる危機です。またつなぎ法施行による成人だけの「療養介護事業所」単独の施設が該当する可能性も懸念されています。

おわりに

いたづらに心配することも重症心身障害児(者)のためにならないとも思いますが、これまでの経緯から制度を詳細に把握し吟味し予測することは必要です。私たちも施設職員として、重症児者と共に生きる者として、国民の一人としてなすべきことに努めて参りたいと思っています。

「久山療育園2014年度事業計画」

センター長 宮崎 信義

はじめに

2014年(平成26年)が始まりました。久山療育園では2014年度から「在宅支援プロジェクト」第二次基本計画に基づいて「在宅支援棟」と「ケアホームひさやま」の建設工事が始まります。いよいよ久山療育園の理念である「福祉共同体造り」「地域に開かれた施設」というビジョンが実現の段階に入ろうとしています。また2014年度には、障害支援区分の見直しや重度訪問介護の対象拡大、共同生活介護(ケアホーム)の共同生活援助(グループホーム)への一元化が実施されます。このような時期を踏まえたくえで事業計画を以下のように掲げました。保護者やボランティアの皆様、支援者の皆様、読者の皆様に「重症児者と共に」この課題を共有して頂ければ幸いです。

2014年度久山療育園の事業計画案

2014年度の年間主題として、

「重症児者が中心にある社会の実現を目指して」、「開園祭テーマ」在宅支援プロジェクトの実現」を挙げさせて頂きました。これは冒頭にお示した医療福祉施策の動向に対応するものです。現在入園しておられる重症児者の重度化・年長化は勿論のことですが、入園に倍する在宅の重症児者の支援と地域福祉、そして在宅介護が限界になった時の受皿としての生活施設の実現を目指した事業計画です。この事業計画の主旨は、日本重症心身障害福祉協会や全国重症心身障害児(者)を守る会、そして日本重症心身障害学会が指摘している在宅重症児者の重度化・年長化が年を経ることに顕著になっていることに拠ります。一方で医療機関や学会が、年齢超過児者を「キャリアオーバー」として、小児科と内科等の狭間にある存在として、当事者意識が薄れようとしていることに憂慮した対応であるとも言えます。入所も在宅も、利用者・保護者が中心にあつて共に支え合

う、そして重症心身障害施設も国立病院機構も共に存在として支援する、そのような地域でありたいと願います。

事業体としての久山療育園

先ず、入所事業・通所事業ほか在宅支援事業の一体的運営をこころざして推進したいと思えます。その為には、①4段階傾斜配置(医療重点・療育重点・生活重点の医療病床とケアホームの福祉重点)の医療と療育を堅持していくための医療と福祉の連携、そして②利用者のニーズや事業の必要に備える人材の確保と育成、③在宅重症児者のニーズに的確に対応する「在宅支援3本柱」の強化が久山療育園の課題です。

次に、実現の要として策定した「在宅支援プロジェクト」第二次基本計画の実践があります。建設と共に2015年度の稼働に向けて、①「在宅支援プロジェクト」構想委員会及び開設準備室の稼働と基本的な要素や設備備品の検討、②在宅重症児者のニーズ調査と把握、ケアホーム入居の利用案内と入居者の確保、③第二次基本計画(在宅支援

棟「ケアホームひさやま」の建設に向けた内容の検討と推進を実践して参ります。

施設運営の骨子

またこの事業計画を担う施設組織を整備していくためには部署間協働体制を更に強化していく必要があります。その内容として、①委員会・プロジェクトチーム・研究班の構成による組織内の連携、②年間予定表を活用した業務調整、③職

実施があります。従来通りの内容もありますが、現在に見なおした部分もあります。

創立40周年に向けて

～創立40周年記念事業

久山療育園は1976年に創立され、2015年で満40年を迎えます。これまでの歩みを検証し、さらなる創立理念の実現の目的で以下の創立40周年記念事業を計画しています。その始めとして、2015年度「在宅支援センター」(仮称)の開所で前述の「在宅支援プロジェクト」の実践段階に入ります。次に創立40周年記念誌の発行ですが、2015年度に編集し第40回開園祭までに発刊したいと考えています。更に創立に寄与された方々、支援してこられた方々に集まって頂き、2016年9月の第40回開園祭の前日に設定して、創立40周年記念式典及び第4回全国支援者会議を開催したいと思えます。読者の皆様からも新たな提言を頂けましたら幸いです。

次に働きの内容として医療療育の推進が必要です。具体的には、①入所事業では診療計画・個別支援計画の更新と個別面談(誕生月報告書)、②通所事業では個別支援計画の更新・個別面談(医療療育情報の更新を年1回は実施したい)、③施設運営では、各部の事業計画、経営分析と評価、④人材育成の方法として新任職員オリエンテーション、各種の育成計画(研修委員会・教育委員)、及び施設研修(職員研修会・療育体験研究発表会・公開講座)の

ご協力ありがとうございました

(2013年10月1日~12月31日) 敬称略

【法人会計】

一般献金

一 般 献 金
聖書キリスト教会 手作り品売上 福岡
豊前キリスト教会 植田サヨ子
窓会福岡支部 富野バプテスマ教
会 青森バプテスマ教会 女性会
日本バプテスマ大阪教会 天城山
荘久山療育園献金箱 めぐみ幼稚園
園 阿部直子 宮崎キリスト教会
女性会 高橋香代子 牧角雅子
坂口道子 後藤敏雄 大森野バプ
テスマ教会 女性会 福永保昭 五
斗美代子 安藤榮二 福岡第一ラ
イオンズクラブ 山崎工 久山療
育園保護者会 日本聖公会福岡ベ
テル教会 松尾勇一 松崎義和
浜中保男・美佐子 西日本シテイ
銀行久山支店 山田雄次 川野直
人 野口美由紀 日本バプテスマ
広島キリスト教会 女性会 日本キ
リスト教小倉教会 日本バプテスマ
トキリスト教目白ヶ丘教会 堺太
郎 福岡城南教会 福島和子 山
本知加子 日本キリスト教団宮崎
教会 株式会社フクエキ 秋永佑
美 シオン山幼稚園保護者会 下
松京子 銘茶かおり園 大森野バ
プテスマ教会おやこひろば 肥田
奈中 岩本卓士 玉川勝己 的場
チアキ 浦上貞子 安増和子
(株)西部クリン いづみ幼稚園
中井勤 徳田欣子 南部栄子 木
戸美沙 溝上敦子 大鶴敬治 粕
谷淳子 (株)日本医療環境サービ
ス 篠原トミエ 波多野陽子
(学)光の丘幼稚園 福岡市民クリ
スマス実行委員会 福岡中部教会
婦人会 田中高子 白垣充子 安
成一男 藤田明子 嬉野キリスト
教会 ひかり幼稚園 汀幼稚園
日本バプテスマ東熊本長崎屋町教
会 日本キリスト教団長崎屋町教
会 中垣路津子 藤永嘉孝 木

下由紀子 清星幼稚園 清星幼
園保護者会 草場久子 光の子幼
園 恵星幼稚園 青山幼稚園等
部 (学)汀幼稚園 西南幼稚園母
の会 周船寺幼稚園 清原和子
日本キリスト教団福岡南教会 香
住ヶ丘バプテスマ教会ひかりキ
ズ 光の子幼稚園 西南女学院中
学校・高等学校 逗子第一バプテ
スト教会 高松太田キリスト教会
山形南部教会婦人会 関東学院中
学校高等部 伊達キリスト教会 日
本バプテスマ連盟瑞穂キリスト教
会 岩崎大輔 柳元京子 (学)西
南学院舞鶴幼稚園 霊水キリスト
教会 新庄聖マルコ教会 西南幼
稚園 関東学院のびのびのぼろ
KCC 博多教会 西山しまお
神愛幼稚園 大分キリスト教会
(学)西南学院 西南学院高等学校母
校母の会 福本忠男 福本美保江
河田和子 (福)バプテスマめぐみ
会北白川いずみ保育園 日本バプ
テスマ教会 小川健一郎 匿名
(以上2,368,534円)

指定献金

福元孝三郎 (以上500,000円)

建築献金

久山療育園献金箱 嘉久明子 甲
斐悦江 アイアリスささぐり 川野
直人 船津九泰 大場奈緒子 宮
崎信義 宮内亘 松尾栄蔵 博多
高等学校 八田内科医院八田喜弘
古池大作 山田雄次 池田和 踊
一郎 井上清美 広瀬恵 日本バ
プテスマ連盟豊橋キリスト教会
鮫島隆之・経男 後藤敏雄 梅崎
正広 古川新 高橋香代子 (有)
若杉葬祭 井上清美 又野貴志

【施設会計】

一般献金

田上洋子 矢津眞澄 中尾多代子
榎谷悦子 森永清治 花原章二
平京子 東倉忠勝 馬原哲治 栗
山高子 岡本好枝 矢山和平 平
山守 和白白バプテスマ教会 横溝
俊之 田村シゲ子 中根史子 大
坪恒之 波田良 奈良崎洋彦 梅
崎正広 中原民子 土生邦彦 窪
田次男 岩下秀俊 吉本邦生 藤
壽美子 土居祝男 福本幾男・順
子 横山友美 加来陽子 加来国
生 柴田公文 匿名 大藪善次郎
小森孝子 高野由理子 古城佳
彦 来久の会通所保護者一同 甲
斐悦江 山本三佳 野田紘美 横
溝玲子 松村祐二郎 中富美穂子
西南女学院同窓会 中島乃婦子
福島啓子 錦織純子 久山療育園
親交会職員一同 林俊明 福岡賢
二・聖子・吉長芽衣・文弥・南
中山裕子 松川翔一 福田靖 志
満秀武 鎌田文子 吉田久美子
鎌倉ツヤ子 入江博史 高島さつ
き 加来徳子 バプテスマコロ
ニー友の会(じやがいも・かぼちゃ
益金) 中島乃婦子 田隈バプテ
スト教会附属光の園幼稚園 窄口
正一 松岡庸子 中塚晴子 福岡
中部教会付属養巴幼稚園 福岡友
の会 大坪夏江 篠栗キリスト教
会 渡辺浩行 瓜生美知子 田川
賢二 小副川時子 松久洋子 千
葉バプテスマ教会 戸島相子 ト
オヤマスカレ (以上8,484,109円)

施設会計

一般献金

松枝秀明 (働きさく工房 香蘭女
子短期大学 林俊明 大洲幼稚園
吉田弘幸 西南学院大学汀寮 新
藤賢恵・佐知子 羽田有子 山口
吉昭 荻本光雄 金井敏男 菊地
孝子 佐伯年子 田中三千男 大
高勝夫 草場正子 日高みどり
森雅司 社会福祉法人キリスト者
奉仕会 川野美恵子 桑名性 安
武ヨシ子 西南学院バプテスマ教
会 因敷 平川博成 中久原区鷺

見録

見録 飯塚バプテ
ト教会 安部聖子 三上渡 清水
谷宏恵 渡邊桂子 福岡南キリス
ト教会 女性会 松附啓二 佐伯國
廣 村山均 羽瀬エミ子 澤田雅
子 百合丘めぐみ幼稚園 岡崎万
寿喜 大谷克子 金丸尚美 城里
生英夫 伴敦子 井上安子 上野
かな すみれの会代表表川崎律子
青木正一 大村古賀島キリスト教
会 愛の国保育園 安永智代 折
尾バプテスマ教会 井上吉彦 明
治学院高等学校 平山照人 (株)
一粒社ヴォーリス建築事務所 久
保山信・敬子 田代姫代美 安部
田鈴香 佐護キヌエ 加藤節子
沖村典子 秀島孝子 (学)東京第
一バプテスマ学園こひつじ幼稚園
(医)岸本内科小児科医院 (学)弥
生幼稚園理事長松崎豊 ナオミ愛
児園施設長園長平沢茂 東福岡幼
稚園 園忠枝 草苑幼稚園 西村
久仁子 伊東靖夫 藤沢バプテス
ト教会 高木美鈴 テンコールN
E O株式会社 本庄友美 日本福
音ルーテル大牟田教会 ソフィア
幼稚園 横浜戸塚バプテスマ教会
松原こひつじ幼稚園 日本バプテ
スト連盟園館美原キリスト教会
姫路日ノ木短期大学付属幼稚園
厚木幼稚園 (以上1,061,163円)

献品

一般献金

吉村やよい(手作り手さげバック)
中山リサイクル産業(タオル)
嘉久明子(梨・柿・りんご・洗剤・
ラフランス) 栗ヶ沢バプテスマ
教会女性会(エプロン、タオル、オ
シ永子、石鹸) 高瀬孝介(手帳)
松永洋子(小物手作り品) 高瀬孝
介(かぼちゃ) 有田行彦(さつま
いも) 川崎バプテスマ教会(エプ
ロン、半タオル) 恵泉バプテスマ
教会(ぞうきん、石鹸) 松尾国利
(鉄板) 榎谷恵(はがき) お針の
枕(カバー) 平川成(足拭きマッ
ト・手作り品) 長野みのり(手作

り品

り品) 梅崎季美子(カレンダー)
辛島多恵(柿) (株)サンエイワーク
(電気裝飾クリスマスツリー) 鈴
木伸(ポインセチア) 鮫島経男
(みかん) 因キシ(みかん) 久山
療育園保護者会靴下、おしほり、
バスケット) 山崎製パン従業員
組合福岡支部(ケーキ) 伊オン
九州(株)イオンモール福岡(お菓子
詰め合わせセット) 福岡丸本(株)
(ケーキ) 浦田千年(手押し車)
西日本新聞民生事業団(ケーキ)
大井バプテスマ教会女性会福祉グ
ループ(食事エプロン) 井上清美
(靴下) 中山雍子(タオル) 鮫島
隆之(缶ジュース) 西川美智子
(アクリルタワシ) くばらコーポ
レーション(ケーキ) ロジテム
九州(株)(ケーキ) 相模中央キリス
ト教会(枕カバー、オシボリ) 福
岡友の会エプロン、タオル、ぞう
きん、石鹸) NEXCO西日本
(カレンダー) 中島宣修(お餅)
(以上914,085円)

コロニー友の会献金

一般献金

コロニー友の会献金
(以上10,262円)
上村清敏、飯塚バプテスマ教会、常
盤台バプテスマ教会、田隈バプテ
スト教会、市川八幡キリスト教会
(2回)、あゆみの家キリスト教会
小倉キリスト教会 上尾キリスト
教会 キムラ・オッチョ 枝光キ
リスト教会 宮崎キリスト教会少
年少女会 赤塚バプテスマ教会
京都教会 松見俊 平塚バプテス
ト教会 木村大地 松本蟻崎キ
リスト教会 郡山コスモス通りキ
リスト教会 金沢キリスト教会
金沢めぐみ幼稚園 横浜戸塚バプ
テスマ教会 福岡キリスト教会
鹿児島基督教会 静岡キリスト教
会 広島キリスト教会 山形キリス
ト教会 富野バプテスマ教会
四日市教会 鮫バプテスマ教会
日本バプテスマ市田キリスト教会
榎谷悦子 (以上522,121円)

久山デー開催!!

「久山デー」に参加してきました

大名クロスガーデンのチャペルで行われた「久山デー」にお友達親子で行ってきました。

新しいチャペルはとっても可愛く美しく、ボランティアさん方が作って下さったカレーやおでん・手作りケーキなど、ほとんど全種を親子でいただきました。

ミニコンサートはとっても楽しく、時を忘れる位でした。ミニバザーもあり、私はお気に入りの湯飲みを見つけ、カレンダーなども買いました。

慧祐といえば、コンサートもバザーも気になるものの、せっかく天神に來たので落ち着きません。「NTTタワーはどこ？」ってちょっとチャペルの近くをウロウロしたらAKB48のお店を見つけ、すぐ近くだったのでちょっと覗いてみました。タワーもチラッと見えました(ナイショ★)

11月の終わりだったので、もしかしたら寒いかな...と思いましたが、なんとかお天気にも恵まれ楽しいひと時を過ごしてきました。

皆様お疲れ様でした。

往復の都市高速を走る車の中から見える景色をすっかり楽しんでいた慧祐でした。

ありがとうございました。

(ひかり棟保護者 末田初恵)



十一月三十日(日)、天神大名のクロスガーデンにて「久山デー」と称した「チャリティーコンサートやバザーがあるので行かれませんか？」と久山療育園の職員さんに誘われて、家族で出かけてみる事にしました。場所が大名と言う事もあり...駐車場はあるかな?と思ったら、意外と近くに停めることができました。

真新しいチャペルの玄関では、バザーや大道芸の風船等があり、孫が風船で可愛い犬を作ってもらって喜んでいました。ホールのレストランでは、カレー、おでん、その他手作りケーキやコーヒー等が販売され、どの食べ物も愛情がいっぱいで、とても美味しかったです。

奥のチャペルでは、チャリティーコンサートが、午前・午後と二回ありました。初めて目にしたファゴットという、尺八よりも長い笛の音色が、息子には心地良く、奏者の方が近寄ってこられると、それは...それは嬉しそうに笑顔で、自分も演奏に参加しているかのように興奮していました。その他にも、ジャズピアノストの方やコントラバス奏者の方の素晴らしい合奏で、心が癒される曲や懐かしい昭和の曲に、思わず口ずさんだりして...あっという間の一日でした。家族みんなで楽しい休日をお過ごしことができました。そして、バザーの収益金が「ケアホームひさやま」の建設資金として寄付されると聞き、障がいを持つ子の親として、なんとお礼を申し上げれば良いのか。また、療育園の中でもいつもボランティアの皆様には支えて頂き、ことばでは伝えきれないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。

ありがとうございました。

(通所保護者 中野拓子)

久山デーを終えて

昨年11月30日(土)平尾教会大名クロスガーデンにおいて、久山療育園ボランティアの皆さんが、中心となって久山デーを行いました。目的は、久山療育園への理解が深まり、新しいボランティアさんが起こされることを願うのとでした。ボランティアの皆さんが企画して主催するのも、チャリティコンサートとバザーを同時にすることもはじめての試みでしたが、とても幅広くいろいろな方々が来てくださり、楽しんでいただけて、とても良かったなあと思っています。久山の利用者さん、保護者の方々、職員の皆さん、ボランティアの皆さん、そして大名の街の人々、教会の方々が、具体的に、共に生きることを感じた一日でした。今年もまたしたいねーとボランティアさんの声。音楽家の埜口さんから、久山の利用者さんのダイレクトな応答に大変励まされましたと、とても喜んでくださり、毎年の恒例にしましょう、これからも、是非お手伝いさせてくださいと、嬉しいお申し出をいただいています。

久山デーを終えて、ひとつの夢が生まれています。大名の街が久山療育園をはじめ、障がいを抱えた方々にとって、とても優しい街になるのです。園外保育で来た久山の利用者の皆さんが、車椅子で天神のデパートに向かっていたら、通りを通る車が止まるようにゆっくり運転してくれるのです。普通に挨拶が交わされ、出会いが生まれ、時には、音楽が大好きな久山の利用者の皆さんのために、ボランティアで多くの音楽家たちがコンサートを開いてくれるのです。天神のと真中で、重症心身障害児者の車椅子が普通に通り、心暖かい、優しい街の風景です。そんな日常を想像しながら、今年もまた10月に久山デーを行いたいと思っています。この日を覚えて祈ってください。当日参加して楽しんでくださる方、献品など、どんなご協力も嬉しいです。どうぞ覚えてお祈りください。感謝をこめて、ご報告まで。

(バプテストコローニー友の会

ボランティア委員 平良民枝)

しづこさんへ

2月19日、安成志津子さんが永眠されました。

・私のほっぺによくチューをしてくれてありがとう。癒されました。

・「ねーちゃん好きー」と言ってくれてありがとう。私も大好きよ。

・しづこさんから貰った、たーくさんの笑顔と元気、忘れません。

・通園から志津子さんとは長い付き合いでしたね。いつもお姉さんと仲良くされ楽しかったですね。

・歌やピアノに合わせて手拍子・指揮を上手にしてくれましたね。しづこさんの笑顔と踊りが大好きです。

・笑顔で「ありがとう」。何度も聞きました。私の方こそ本当にありがとう。

・しづこさん、通園時代も含め沢山の思い出がありますね。そのどれにもお姉さんとの姿が浮か

びます。大好きな物に囲まれて楽しく過せますように。

：しづこさんへ伝えたい事はまだまだ沢山あって書ききれないけど：みんなが一番伝えたいのは「ありがとうございます」の気持ちです。

あなたに出逢えた事に感謝しています。

(ひかり棟のみんなより)



「年末特別街頭募金を終えての感謝と新しい思い」

2013年度の年末特別街頭募金は24日(土)を除く21日(土)から28日(土)まで7日間の日程で行われました。久山療育園の「在宅支援プロジェクト」支援のため、50万円の目標達成を期して臨みましたが、雨と寒波に悩まされ厳しいものとなりました。

21日の初日は雨模様で、雨の間を縫うような形で辛うじて実施できたものの、中日の26日は雨で中止となり、追い込みに懸けた終わりの27、28日の両日も厳しい寒波に見舞われ、たくさんの方に協力頂いたにも拘らず目標が未達となったことは残念でした。しかし、クリスマス礼拝があり教会からの参加が出来ない22日の主日(日曜日)を今年度も久山療育園の関係者(職員とその家族と保護者)の方々が代わって担当して下さり、連携して実施が出来たことは大きな感謝でした。結果として募金額は前年度より10万円少ない326,857円でしたが、参加者は前年度を上回る158名で「よく頑張った」という実感をもって終わることが出来たのは何よりでした。参加して下さった方々に感謝します。

年末特別街頭募金が始まったのは1976年からで、それから37年間継続されてきたわけですが、その歩みを振り返ると開園時、通園事業開始のための取り組み中や旧園舎の全面改築工事等々特別な事業の取り組みがあった時期に、その気運の盛り上がりが街頭募金に反映していることがわかります。

特に久山療育園開園の年は福岡(24回)北九州(12回)下関(6回)大分(2回)で合わせて年間49回の街頭募金が行われ、働きの推進に寄与しました。新しい在宅支援プロジェクトの建築募金と運営支援の強化が求められている今、地域社会へのアツピールの場として街頭募金をもうひとつ盛り上げていく必要があるのではないかと考えさせられました。友の会活動の原点復帰の意味も含めて

再活性化の取り組みが大事だと思っています。
— 街頭募金推進委員会
委員 山田 雄次 —



メモ帳

【10月】

▽5日 まつりひさやまへ入園者作品展示
▽10日 福岡女学院看護大学1日見学実習(20名)
▽13日 東久原運動会参加(利用者3名)
▽17日 福岡保健専門学校作業療法学科見学(35名)
▽19日 連合福岡地域協議会福祉募金寄贈式(天神ビル11F)
▽母子生活施設室見寮見学(5名)、中央区知的障害者支援センター見学(1名)、ワークランド桂川見学(10名)
▽24日 九電工さわかボラティア来園(18名)、福岡県障害者福祉課企画管理係見学(3名)
▽29日 老健すこやか見学(4名)
▽30日 福岡水巻看護助産学校看護学科見学(80名)、精華女子短期大学幼児保育学科1日実習(1名)

【11月】

▽5日 博多高等学校1日実習(1名)
▽6日 福岡県訪問看護師養成講習会実習(2名)
▽7日 大相撲九州場所前夜祭見学(利用者2名)
▽9日 重症心身障害認定看護師研修会(受講生16名、看護部長9名、ボランティア講習会(14名)
▽12日 第44回公開講座(約90名)
▽13日 第59回パブテスト連盟定期総会(天城山荘)
▽14日 福岡女学院看護大学実習(20名)、福岡・佐賀重症児食栄養研究会(10名)
▽16日 保護者会役員との会議
▽27日 知的障害者施設エデンの園見学(2名)
▽28日 福岡女学院看護大学1日見学実習(学生10名、教員2名)
▽30日 久山デー(大名クロスプラザ)

【12月】

▽5日 福岡第一ライオンズクラブ献金贈呈式(ホテルニューオータニ)
▽7日 第66回福岡市民クリスマスマス
▽10日 入園者クリスマスマス(保護者約50名)
▽12日 園クリスマスマス(外部より39名)
▽13日 通所クリスマスマス(42名)
▽20日 福岡特別支援学校終業式(株)マルゼン見学(3名)
▽22日 年末街頭募金(12/23、12/28も実施)
▽27日 通所避難訓練、福岡友の会見学(4名)
▽28日 家庭療育期間課(1/5)

支援者からの声 第八回

「主に仕える」

日本バプテスト連盟
福岡バプテスト伝道所

伝道師 前田文生



「・わたしが あなたを忘れることは決してない・」

(イザヤ書49:15-16)

「一歩踏み出せ、そして神を信ぜよ」

(2010年9月、長崎バプテスト教会での特伝説教で)

私は今、福岡バプテスト伝道所の伝道師として明石初恵牧師を支援しながら、毎週土曜日夕方5時から福岡伝道所での礼拝を守り、翌日曜日は朝10時半から富江教会での主日礼拝で礼拝を捧げています。

その発端は、2010年5月に開催された西九州地方連合の定期総会での席上で、明石先生からの「五島伝道への救援の呼び掛け」にありま

した。

当初、私達より年齢が若く、機動力のある方がこの支援を受けて下さる様に祈っておりまして、西九州連合の会長名で全国の諸教会にも呼び掛けられましたが、応答は皆無でした。そんな折に、2010年8月、2人の先生から頂いた御言葉が、冒頭に記載のイザヤ書49:15-16であり、更に、長崎教会の特伝のメッセージで、「一歩踏み出せ、そして神を信ぜよ」の篤いお言葉に触発され、「今だったら、私達でも出来る」との思いがこみ上げて、その気持ちを家内に打ち明

けました。また長崎教会の牧師先生にも相談して、翌年の2011年4月に、西九州地方連合から「派遣」という形をとって五島に赴任し、早くも3年が経とうとしています。

私達夫婦が五島伝道に関ったことで、これまで明石先生が礼拝の司会・宣教・奏楽・祝祷、更には会堂の活け花・清掃など、全てを1人で為さって来られた事は解消されましたが、平常伝道の難しさを尚、痛感させられていた昨今です。

顧みますと、五島伝道に仕えることは、そのまが主

に仕えることであり、仕えることの過去の体験の1つに久山療育園での経験があったように思います。

私が久山療育園の名前を知り、関心を寄せ始めたのは、長崎バプテスト教会時代でした。1985年頃、私は教会学校の小学校の教師をしておりまして、その子供達の見聞を広げるのが目的で、久山療育園に数名の子供達を送り出して、帰ってきてから久山療育園の見学した様子や、洗濯物(バスタオルなど)を折たたんだ奉仕活動などの状況を写真入りで報告していただきました。

その後20年ほど経過して、私自身が身をもって久山療育園を知ったのは2006年7月、九州バプテスト神学校のスクーリングが久山療育園を会場にして3泊4日のプログラムで行われ、その2日目の午前中「重症児者の食事の介助と食後の交わり」のひと時でした。「食事の介助」は私にとって初めての体験でしたが、これらの経験を通して仕える姿勢を学ぶ貴重な体験となりました。その時に、重症児の方々が特別支援学校で学ぶ楽しみがある事も知りました。

イエス様は、十字架を前に

して弟子達の足を洗い、「あなたがたも互いに足を洗い合わなければなりません。私があなた方にした通りに、あなた方もするようにと、模範を示したのである」(ヨハネ13章)と語っておられますが、このイエス様の為さったへりくだった奉仕の尊い行為、それは単なる謙遜の奨励ではなく、私達の罪を贖う「贖罪の行為」であり、また互いに愛しあう「敬愛の行為」であると思います。このイエス様の行為をお手本にして熱く応えた久山の歩みこそ、まさに、主に仕え、人に仕えて生きていくイエス様の生き方を証ししているのではないのでしょうか。九バブ神のスクーリングの折り久山療育園での重症児の皆さんとのお交わりは、今の私の五島伝道にも繋がる「主に仕える」生き方だと思っております。

これからも久山療育園が重症児者と共に生きる、地域に開かれた新しい福祉社会の実現を目指し、設立の目的である「重症児者が社会の真ん中に位置付けられる新しい福祉社会づくりの拠点となる」ことの実現を目指して、歩んでいかれるように祈り願っています。



藤田 英彦

キリストはおいでになり、遠く離れてい

るあなたがたにも、また近くに

エフェソの信徒への手紙2章17節

「おいでになり」とは文字通りやって来られたと云うことです。これはクリスマスを意味する言葉です。春立つ日が告げられていくのに厳しい寒さの日が続いていますが、もう一度降誕節のメッセージを考えてみましょう。キリストは神の子ですが、われわれの世に、われわれの隣人として、われわれの仲間、味方として、

やわらぎの福音を宣べ伝えられたと云うのです。それだけでなく「十字架を通して、両者を：神と和解させ(16節)」といっています。イエス誕生の時代にヘロデがどんなに残酷血なまぐさいことをしたかをわれわれは伝えられています。自分を守るためです。今日もなお血なまぐさいこの世界に、キリストご自身が僕の姿をとって来られ、ご自身が十字架の上で釘打たれ服従されたことを聖書は語っています。神の子がわれわれの立つべき所に立って和解を告げておられる。このことによって神と人間との間の一切の壁がもはや打ち砕かれていく、人間と人間、国と国の関係は今どうであるか。もう一度考え声をあげてゆきたいものです。

LCUリハ活動のご紹介

昨年度から、LCUにて作業療法士が集団活動を月に1回実施しています。感覚遊びや制作活動、チーム対抗のゲームなどを取り入れ楽しんでいきます。一番盛り上がるのはやっぱりチーム対抗のゲームです。介助につくスタッフは、自己PRをしてどちらのチームに介助につくか利用者の方に選んでもらいます。そのスタッフの自己PRが弱いとなかなか選んでもらえません。ゲームの中では、利用者とスタッフも一緒になって楽しめます。1回戦、2回戦とゲームはありま



すが、その間には作戦タイムがあり、どうすればみんなの力が精一杯うまく引き出せゲームに勝てるかを真剣に考えています。ゲームは盛り上がり、勝つても負けてもすがすがしい気持ちになります。活動の終わりににはリラクゼーションタイムがあり、がんばって動いた手足を伸ばしたり、気持ちがゆったりとできるようなマッサージを取り入れ、最後にはみなさん今日の感想を言葉や発声、表情などで表現して活動終了です。2年目の今年は、作業療法士と病棟の担当介護福祉士が共に活動を計画し実施するようになり、日頃なかなかできない情報交換もスムーズに行えるようになりました。まだまだアイデアは尽きませんのでこれからもいろいろなゲームを考えてやってきます。LCUのみなさん楽しみに待っていてくださいね。

(作業療法士 荒金)



「めんたいこ作ってきたよー!!!」

この写真をご覧ください！お2人とも満面の笑みでめんたいこを見せています。

去年の10月13日、施設交流事業で東区社領にある『ハクハク博多の食と文化の博物館』に行つて、めんたいこ作りの体験などをしてきました。参加したのは、ひかり棟の古賀さんと森田さんの2名と保護者の方と職員の合計6名です。

さて、施設交流事業とはどんなものかというと、福岡地区の児童福祉施設が集まって交流を行う行事です。毎年実施されており、昨年度はラーメン作り体験がありました。ほかに地引網体験やバーベキューなど色々なものが行われてきました。久山からは毎年2名程度の入所者が参加しています。そして今年が「めんたいこ作り」だったわけです。

今回行った『ハクハク博多の食と文化の博物館』は2013年4月にオープンした新しい施設です。『めんたいここのふくや』の工場で同社の製造工場の見学・体験施設、福岡・博多の観光の楽

しみを一同に体験することが出来る施設です。

当日はまず、めんたいこの工場見学をしました。めんたいこは何からできているのかから、どんなふうになられているのかなど、実際に作っている所を見ながら説明をして貰いました。次にミュー

ジアムで博多の文化を感じて、午後からめんたいこ作り体験です。各施設の小学生とグループを

組んで自分だけのめんたいこを作りました。

一生懸命作りながら、他の施設の子たちとお話したりと、ワイワイガヤガヤ楽しく作っ

ていました。ちょっと辛さを抑えたり、すこしうまみを加えたり、みんな

それぞれの味を付けて持ち帰りました。でも、食べごろには2日漬けておかなくてはいけません。「あー早く味見したいなあ」と言いつつ冷蔵庫へ。待ちきれないけど、がまん、がまん。みんなもどんな味が想像しながら待っているでしょうね。

さあ来年はどんな楽しい交流があるのか、今から待ちきれないですね。

(ひかり棟介護福祉士 山口真二)



千兵衛さんとハイチーズ☆

「おすもうさんを見たー!!」

昨秋、二回もおすもうさんにあう機会がありました。その時の楽しかった事を皆さんにお話します。

【相撲部屋見学】

毎年九州場所が近づくと、久山療育園のすぐ近くに、佐渡ヶ嶽部屋がやってきます。今年は利用者さん二名と共に朝稽古を見に行くことになりました。

バスを降り、鮮やかな幟が揺れるそこに立つと、壁には「静かにしてください」と貼り紙がしてありました。見学者の方々が中にも外にも沢山おり、静かに腕組みをして見えています。辺りが静けさに包まれる中、「ハッ」「ダン!」「パチッ」など様々な音が聞こえてきました。部屋の外で稽古しているおすもうさんの身体からは湯気が上がっています。私たちも「すごいね」「大きいね」と互いに話す声を小さくして、おすもうさんを見ていました。そこへ一台の車が私たちの前に止まりました。なんと降りてきたのがあの白鵬関!偶然にも出稽古に来たのです。ますます空気がピンと張りつめ、おすもうさんたちも気合が入ったよう

でした。見学者は続々増え、来ていたおじさんに「相撲が好きとね」と話しかけられたりして・・・最後には優しいおすもうさんが内緒で写真を撮ってくれました。琴東関ありがとう。「絶対応援するね」と話しながら、帰途につきました。

【大相撲前夜祭】

九州場所が始まる前に、国際センターでは毎年前夜祭が行われています。今年は、園でも応募し二名の招待を受けました。二階席からは土俵全体が見渡せ、横綱の土俵入りやちびっこ相撲、トークショーに歌の披露までありました。利用者の方は身を乗り出して、土俵の上を見つめています。国技である相撲の神聖な一面と、思わず笑ってしまうようなコミカルな場面を利用者の方々と共有する事が出来ました。

実は、そんなに相撲に興味のなかった私でしたが、この二つの体験は大変楽しいものとなりました。みなさんもぜひ、機会があれば行ってみてください。

(ひかり棟保育士 陣内)



一緒に写真撮ったよ!



相撲部屋見学

めぐみ棟クリスマス

久山に就職し、初めてクリスマス会に参加しました。めぐみ棟・ひかり棟合同で交流ホールに集まり、厳かな中でのキャンドルサードレス。

今年は、フラダンスやゴスペルの方が来て下さり、フラダンスを見て入所者の皆さんも一緒に手を動かし踊る方もおられ、また、ゴスペルでは歌を聴いて涙ぐんでいました。

出し物の後は、職員がトナカイとツリーに扮しての、昨年の流行語「お・も・て・な・し」や「ふなっしー」など場を盛り上げてからのサンタさん登場!

入所者さん一人一人にプレゼントが貰え、またおいしいケーキに大満足。皆さん終始笑顔で過ごさ

れてました。

来年も、皆さんで楽しめるクリスマス会が迎えられますように。

(めぐみ棟看護師 羽野)



Merry ☆ Christmas



ツリーと一緒にハイチーズ!

通所成人式

親愛なる昭宏さんへ

新成人おめでとうございます。
この日を迎えることが出来て、大変嬉しく思います。今日まで力を貸し協力して下さった方々に、感謝する気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

昭宏がこの世に生を受けた意味を私なりに考えてみました。橘家を守る為に、神様が預けて下さったと感じました。それは私が子供の頃、十人兄弟の四番目で、学校のクラスは女子が一人だったためにずっとイジメを受け、居場所が無く人間恐怖症でした。あなたを守る為、育てるためには強くなるしかなかった。私は百八十度変わり、笑顔を取り戻すことが出来ました。

祖母と父は、他人を見下ろす人達で孤立した感じになっていたのですが、思いやりを持つことが出来て周囲から声がかかるようになりました。

私は「神の子」と信じて育てていく中で、戦いも沢山してきたけれど結果を残すことができ、間違いなかったと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。

ただ一つだけお願いがあります。体が不自由なあ



社長さんへ

あーちゃん(母)より
(橘昭宏さん お母様)

なたは、人の手を借りなければ生きることが出来ないの、大人をおちよくくり反応を見て楽しむのは止めてほしいです。だけど、どこに居ても目立ち皆から愛されている姿を拝見することが出来て、凄いなあ〜と思います。

最後に、私の子供になってくれてありがとうございます。これからも助けてください。頼りにしています。至らない母ですが、よろしくお願いします。「笑顔」沢山運んで来てくれてありがとうございます。

「母の願い」

過ぎてみれば二十年って、こんなに早いんだな〜ということ。母は実感しています。

一九九三年四月二十七日、聖は仮死状態で生まれました。二日目に痙攣を起こし、聖だけ救急病院に搬送されNICUに二週間、その後私も付き添って更に二週間入院しました。

退院する時、こども病院を紹介していただき、通院を始めた頃「脳性麻痺」と診断されました。当時、私の頭の中にはその四字熟語がぐるぐる駆け巡っていました。主人はいつも前向きで冷静な人なので、育児をしていく中で、「聖は脳性麻痺だから可愛い」と言いました。健常者の世界しか知らない人は「不謹慎なことを言う」と思われるかもしれないかもしれませんが、母である私も不憫に思う反面、脳性麻痺の特徴である手足の動きや顔の表情や仕草など可愛くて、主人が言った一言から、病気を含めた聖のすべてを受け入れることができたように思います。

私たちは、脳に良いとされ

ることをたくさんしました。脳によい食品群を食べさせ、噛めるものはなるべく噛んで食べさせたり、「笑う」ことが脳にいいので、聖の好きな揺らし遊びや感触遊び、絵本の読み聞かせなどもたくさんしてあげました。

それから間もなく母子通園が始まったのですが、療育を受ける中で、健康であれば気も付かない小さなことまで教えられ、目からウロコが落ちるようでした。

0歳の頃から二週間に一度通っていた「たんぽぽグループ」も含めると、六年間母子通園をしました。子供と同じ目線になって療育を受けることができたのはとても貴重な体験でした。障害児を持つ親の特権だとも感じています。

何度か重篤な痙攣発作のため、入退院は繰り返しましたが、福岡養護学校に入学し、小学部から高等部までの十二年間も聖や先生やお友達とともに毎日を楽しく

過ごしました。

聖の人生は私の人生でもあり、療育に関わって下さった先生がたや訓練の先生、ドクター、看護師さんやヘルパーさん。現在通っている久山療育園をはじめ施設の方々、今まで出逢った数多くのお母さんたちや子どもたち、たくさんの人たちに支えられ、聖と私は生かされてきたんだな〜と感謝せずにはいられません。これからも家族の健康に気を付け、できるだけ長く聖と生活できること。それと、その先、聖が聖らしく生きていける場が与えられること。それが母の願いです。

山田 弘子
(山田聖さん お母様)



おめでとう!!

大好きな晃希へ

本日は、たくさんの方に祝っていただきましてありがとうございます。

晃希が生まれた時、私の母は他界していたので、周りに子育てしている人がいなく、育児書片手に悪戦苦闘していたのを思い出します。

1歳2ヶ月の時病名がわかり、まだ理解できぬまま、言われるままに、にこにこ園、あゆみ学園に通園するようになりました。

不安な日々を送っていました。が、お母様方の話を聞いているうちに、心にゆとりがもてるようになりました。また、子供にとっても、同世代のお友達と接する機会ができ、悩んで過ごすより楽しく生きよう!!

と思うようになりました。小学部に入るとバス通学となりました。長時間離れて過ごすのは初めてだったので、心配でよく学校に行っていました。段々と慣れ学校生活を楽しんでいました。

中学部では電動車椅子で暴走したり、時にはやんちゃで廊下にだされたり・・・高等部では、慣れない呼吸器で元気をなくし



母より
(神田晃希さん お母様)

た晃希に、楽しく通学できるよう大好きな虫を教室と一緒に育てたり・・・たくさんのお出会いのおかげで、大きく成長することができました。

二十年間振り返ると、辛い事の方が多かったはずなのに、楽しい事か思い浮かばず・・・でも、この子はどう思っているんだろう? 毎日楽しんでいるかな?!と聞いてみたいです。

社会人として二年目ですが、今後もマイペースで歩んでいきたいと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。

二十歳を迎えて

本日は、成人式を無事迎えることができましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。これまで、娘の命を助けてくださった先生方を始め、今までご縁を頂きめぐり逢えた皆様が愛情をかけてくださり、そして、支えて頂いたおかげ様で、有加も私達家族も今日まで頑張ることができました。これまでお世話になりました皆様に感謝いたします。

つい先日、18年ぶりに、産まれてすぐに入院していた久留米の聖マリア病院に行ってきました。当時の先生とお会いできて、先生も有加の元気な姿を見て喜んでくださいました。そしてその時に先生が一言、私に「お母さん、ここまでよく頑張ったね」と声をかけてくださいました。私は、先生のその一言で今までの事が報われたような気がしました。まるで肩の荷がおりたような感じでした。

有加!!「お母さんは、貴方がいてくれたから、そし

て側にずっといてくれたから頑張ることができたんだよ・・・いつも、いつもお母さんの側にいてくれてありがとう。きっと、お母さんを支えてくれていたんだね・・・本当にありがとう」

有加は、小さい時からヤンチャでイタズラもよくするんです。シールなんか見ると絶対にはいでしまうし、本や雑誌は破いて散らかして遊ぶし、物は壊してしまうし・・・私をよく怒らせるんです。

ある時、先輩のお母さんに「有加は可愛いけど、よく親子喧嘩するんですよ」と私が言ったときに・・・

「喧嘩ができることがうらやましいよ!」と、そのような事を言われました。その時私は、先輩のお母さんの一言にハッと気付かされました。「そうか・・・喧嘩ができるということは、有加が元気な証なんだ」と思いました。日常の何気ない事に感謝を忘れていた自分



母より
(藤城有加さん お母様)

に反省しました。本当に、有加もここ何年かは、人工呼吸器を24時間装着してからは、ずっと元気に過ごすことができています。この一年間は今日の日を迎えるにあたり、娘の晴れ着の準備をする母親の喜びや楽しみが、こんなにもありがたいものなのか・・・お母さんはあなたのおかげで、今とっても幸せです。そして今日はスタッフの皆様のおかげで最高にきれいに仕上げて頂きました。本日は本当にありがとうございます。これからもどうかよろしくおねがい致します。

メリークリスマス！楽しいクリスマス会♪

通所クリスマス会

十二月十三日、今年最後の通所行事！クリスマス会が行われました。

会場正面には、活動で利用の皆さん全員が、協力して作り上げた手作りリースが・・・ドーン！と飾られ、クリスマススムードを盛り上げてくれていました。今年度からは、宇宙（そら）の可愛らしい仲間も加わり41名の利用者の方々とそのご家族、ボランティアの方々と一緒に賑やかにスタート！

一部の礼拝では理事長先生方からのメッセージや讃美、お祈りをちよつぱり緊張の面持ちで皆さん聴いておられましたね。

二部はスペシャルゲストによるショータイム！鈴の音と共に登場したバルーンパフォーマー「てのひらさん」のコミカルな動きと楽しい会話で、会場は一気に明るくなりました。アカペラでの素敵な歌声「アメージンググレース」から始まり、お母様方にとっても昔懐かしい・・・ヒット歌謡曲に合わせて、次々に作り出されるバルーンアートの数々に、皆さん拍手喝采！！最初はウトウトしながら参加されている方々も、周りの楽しそうな雰囲気やパッチリ目を覚まし、ニッコニコ！音楽に合わせて、大きな声で喜んでいらっしゃる方々もおられ、「てのひらさん」の素敵な魔法にかけられたような、とってもとって

も楽しいひとときでした。また、参加された方（利用者の方）全員にバルーンアートのプレゼント付！皆さんの笑顔あふれ、本当に感謝です。

皆で盛り上がりつつお腹がすいたら次はお食事会。クリスマスメニューの色鮮やかなお食事やケーキに、お母様方の会話が弾みます。利用者の方々もパクパク食べて、賑やかなランチタイムとなりました。

午後からの祝会は園長先生サンタやスタッフサンタ、太めのトナカイ、歌うツリーさんの登場！「サンタは忙しい♪」のメロディーに合わせて、息切れしながら踊るスタッフに声援？やら、笑いやら・・・プレゼントももらって皆さん笑顔いっぱい！のクリスマス会となりました。

☆メリークリスマス☆

（通所支援員 安河内）



外来 療育 宇宙

楽しかったおもちつき

通所の年始の行事といえばやっぱりもちつき。二〇一四年一月七日、今年も賑やかに一年が始まりました。

今年は宇宙の幼児さんたちも一緒に加わって楽しいもちつきが行われました。

通所の利用者の皆さんが元気に新年の挨拶をして集まり出したところ蒸したもち米のいいにおいがフロア中に充満して寒くてたくさん着ていた上着も一枚、もう一枚と薄着になっていました。

初めて通所のもちつきに参加した幼児さんたちも通所のお兄ちゃん、お姉ちゃんたちと一緒にもちをつきました。小さい身体を全身使って周りの声援を受けながらおいしいもちになるように愛情をこめてつきました。始めはちょっと緊張気味の表情も「べったん、べったん」のリズムに楽しくなってきた様子でどんどん顔が笑顔になって行くのを見て周りの人たちもどんどん笑顔になっていました。成人の皆さんは「こんな時代があったねえ」や「なつかしいねえ」等、幼児さん達を見ながら懐かしんでいました。

午後からはスタッフと保護者の皆さん一緒にうで相撲大会をしました。始めは乗り気ではなかった皆さんも皆の

戦いを見ていると闘志が燃えてきたように背中が炎のようなオーラが見えていました。

もちつきの参加者の皆さんに今年の目標を聞くと「元気に通所にくる」や「夏のプールに参加したい」とやる気十分。やりたい事が次から次へと出て来て、今年も色々な事にたくさんチャレンジして笑顔いっぱい！の一年にしたいですね。みなさんはどんな一年にしたいですか？

みんなであつたおもちをお土産に一年の期待が高まるもちつきでした。今年も笑顔いっぱい！の通所になりますように。

（通所保育士 三山）



「気持ちを込めて
作っています！」

松岡芳和さんへインタビュー



調理師の松岡芳和さん

今回は、当園動続10年目を迎える、調理師の松岡芳和さんにお話を伺いました。

Q..調理師を目指したきっかけはなんですか？

A..そうですね。もともとは車の営業マンだったんですけど、料理が好きでその道に入りたくて。26歳の時に居酒屋でアルバイトをしながら調理学校に通っていました。

—営業マンだったんですか！？ものすごく意外ですね…！

そうですね（笑）！本当は居酒屋をやりたいと思っていたんだけど。アルバイトとして働きながら今後の働き方について悩んでいた

その時に、学校から紹介をもらって東医療センターに勤めることになったんですよ。

—そこから久山療育園に入職していかがですか？

知っての通り、東医療センターには重心の方もいらっしゃるのですが、久山に来たときも自然と何の違和感もなく働くことができました。東医療センターが500、600床で、次に働いた老人施設が300床、そして久山が100床未満でしよう？逆に増えていったんだっけ？と思ったんですけど、本当にすんなりと仕事に取り組みことができました。

Q..重症児者の食事を作る点で難しいこと、また、心がけていることは何ですか？

A..野菜の大きさとかには気を遣いますね。潰しやすいように薄めに切るとか。利用者の方には食べやすく、また、介助もしやすいように考えながら作っています。最近ではあまり行っていないんですけど、介助する側の視点で考えられるように、たまに食介に行っています。そこで得たものや、介

護士さんたち病棟職員の見を給食委員会を通して共有し、利用者さんにとってより良い食事を提供できるように、職員みんなで日々努力しているんですよ。

Q..ご自宅でも料理をするんですか？

A..普通にしますよ。遅出の時はできないけど、早出と休みの日はいつもしていますね。

いま、卵にハマっていて、ちよつといいモノを買っています。あとは、豚足と牛スジ。テレビチを作ったりラーメンのスープを作ったり。スープを作った時はガス代がものすごく上がって、家族に怒られてしまいましたけど。

Q..さすが調理師さん！ご家族がうらやましいです。ところで、休日の過ごし方、また、趣味は何ですか？

A..一緒！趣味が仕事、仕事が趣味です。料理を作っている時が一番楽しいです。あと、気が向いたときに家で野菜を作ったり。たまにですけどね。ほかはね、ドライブ大好きですよ。良い食材を買いに、伊都菜彩ま

で行ったり。宗像の道の駅にも行きたいと思っているけど、なかなか行けずにいるですね。

—伊都菜彩、私も大好きです！良いものが安く買えますし。道の駅巡りも楽しいですよ。

そう！旬のものが手に入るし、ドライブもできるし。一石二鳥やね。

Q..最後に一言いただけますか？

A..うーん、そうですね。「気合いを入れてダシ取ってます！気持ちを込めて作ってます!!」

料理をしている時が何より楽しく、仕事に興味だと言いつける松岡さん。こうして、栄養課のみなさんが利用者さんたちの健康を支えてくださっているんですね。

栄養課の職員は普段は帽子とマスクをつけていて顔を見る機会や、話をする機会がありませんが、もしもみなさんが、みなさんその素顔は気さくで明るい方々です。

これから、気合いと気持ちがたっぷり詰まった、おいしくて楽しい食事を作っていくてくださいね。

（事務部総務課 高野）

職員の異動

（11/1/1/31）

【退職】

▽夏目知明（管理栄養士） 12/31付

▽明里麻美（看護師） 1/31付

【採用】

なし

介護福祉士募集。（詳細はホームページをご覧ください）

URL / <http://hisayama-smid.jp/>

献金申込送金先

社会福祉法人

バプテスト心身障害児(者)を守る会

〒811-2501

福岡県粕屋郡久山町大字久原 1869

久山療育園重症児者医療療育センター内

☎ (092) 976-2281 (代)

《郵便振込》郵便振替 【01720-8-24404】

《銀行振込》西日本シティ銀行久山支店 普 71888

個人、会社共に免税の対象になります。

メール: hisayama@hisayama-smid.jp

ボランティアだより

ボランティア紹介・濱崎カツエさん



濱崎カツエさん

今回は、毎週月曜日にいらして頂いている濱崎カツエさんをご紹介します。濱崎さんは日本基督教団福岡南教会の教会員であり、もともとはその婦人会の活動で年に一回、来園されていたのが久山療育園とのつながりのきっかけです。利用者さんや他のボランティアさんとの関係が深まるにつれて回数が増え、二、三年前から月に一回ボランティアで来園されるようになりました、今では毎週月曜日に来園して頂いています。

活動は、通所棟での介助で、療育活動への参加・食事の準備と介助・午後の本読みなど、幅広く活躍して頂いています。利用者さんとの関係は、最初は緊張感があり、声かけやスキンシップなどコミュニケーションがうまくいかなかったそうですが、ある時期から声かけに対してニヤッと笑顔が返ってくるようになりしました。保護者の皆さんから、利用者さんは何が好きなのか、どうしたら喜ぶのか、ということを教えてもらうことで理解が深まり、コミュニケーションをとる機会が増えました。手を握ったり背中をさすったりしながら会話し、よく笑いあいます。利用者の皆さんと自然に接するようになったことが本当に楽しいとおっしゃいます。

また、熱心なクリスチャンである濱崎さんは、礼拝の翌日である月曜日に来園されることにとても大きな意味があるとおっしゃいます。教会でのお話を聞いたうえで過ごす久山での時間（利用者さんと心と心で通じ合う時間）がとても豊かなものになっていて、ご自身の中では教

会生活の一部であると感じておられます。ボランティアでお世話をするというのではなく、濱崎さんご自身が癒されたり励まされたり力をもらっていると感じの気持ちを話されます。

いつも笑顔を決やさず優しく利用者さんと接されている濱崎さんですが、来園される時には、しっかりとした活動ができるよう体調管理に努めておられるそうです。体が続く限り久山に来続けたいと今後の抱負も話して下さいました。

濱崎さんの、ボランティア活動を通して感じておられる喜びや充実については、ボランティア講習会の際にも話して頂き、受講者の皆さんからも好評で、とても感謝をした次第でした。今回あらためてお話を伺い、職員としても、嬉しく頼もしく思いました。今後も利用者さんとの楽しい交わりの時間をよろしくお願い致します。

(相談支援員 山田)



2014年度 行事予定 (入所利用者)

日程	行事	日程	行事
4月 16日(水)	イースター	10月 17日(金)	誕生会
25日(金)	誕生会	11月 21日(金)	誕生会
5月 24日(土)	運動会	12月 5日(金)	誕生会
30日(金)	誕生会	16日(火)	入園者クリスマス
6月 20日(金)	誕生会	もちつき	
7月 7日(月)	七夕	10日(土)	成人式
18日(金)	誕生会	16日(金)	誕生会
26日(土)	夏祭り	23日(金)	誕生会
8月 22日(金)	誕生会	3日(火)	節分
9月 12日(金)	誕生会	20日(金)	誕生会
23日(火)	開園祭	3日(火)	ひな祭り
		13日(金)	誕生会

余暇活動・随時開催

【内容】喫茶活動(園内にてお菓子を食べたりして、喫茶店の雰囲気を感じます)音楽会(ボランティアによる手話ダンス・和太鼓演奏・ピアノ演奏など)お話し会(ボランティアによるお話し会・紙芝居など)

2014年度 年間行事予定 (通所)

4月2日(水) 始園式(保護者懇談会)

5月24日(土) 運動会

7月9日(水) 夏祭り

12月12日(金) 通所クリスマス

1月6日(火) もちつき

1月29日(木) 成人式

○園外活動を予定(1回/年) 場所、日程は未定

○ミニ園外を予定(曜日ごと小グループ) 場所、日程は未定

園外活動・スクーリング; 日程・場所は現在計画中です

【内容】入園者4~5名・保護者・職員・ボランティアが参加園の車両にていろいろな場所に行き、さまざまな体験をする機会をもちます

久山療育園の代表メールアドレスが変わりました! 新アドレス→hisayama@hisayama-smid.jp

歩行器



前号、「愛の手を173号」の校了直前の時期、入園者の方、通所利用者の方が相次いで天に召された。見送られたご家族の悲しみの深さは如何ばかりかと考える。長年、生活や療育を共にさせていたいた久山の職員たちも大きな悲しみの内にあった。

今は神様の御許にある利用者の方々の平安を祈りながら、入所クリスマスが、園のクリスマスが、通所のクリスマスが開催された。

キャンドルの光の中に保護者の皆さんの祈りを感じた。頂いたメッセージの中に、イエス様がそのご誕生の時から、弱いものの側にいらした事を改めて感じた。多くの地域の企業から、或いはそこに働く方々が心を尽くして下さり、たくさんの方のキを届けて下さった。

その数日後には、多くの教会員と支援者、保護者、職員とその家族が年末の街頭に立って募金呼びかけをした。

新年度を前にして、それぞれの立場から在宅の重症児者とそのご家族の為に一心を一つにして働くこうとしている。その熱がこの冬の寒さを少し和らげている気がする。

(T.M)